

中 学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 13> 令和5年2月1日 (水)

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>



立 春

校 長 長 島 淑 子

7年ぶりに強烈な寒波が日本列島を襲った先週、雪こそ降りませんでしたが、氷点下の冷え込みで、立春がますます待ち遠しくなりました。学校では、新型コロナウイルスの影響がようやく下火となり、生徒たちは元気に、学習や運動に励んでいます。

今年度は、修学旅行に引き続き、昨年実施できなかった2年生の館岩への自然の教室も前半後半に分けて無事実施することができました。生徒が半分になる代わりに、先生も半分になってしまうため、けが人や発熱者が出た場合の対応など、大変、気苦労の多い宿泊学習でしたが、コロナ禍でも白銀の世界とスキーの楽しさを体験できたことは、生徒たちにとって一生心に残ることでしょう。また、現地では一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たすことの大切さを学びました。スキーの指導をしていただいた地元の皆様の温かさにも触れ、技術だけでなく、心も一つ成長できたのではないかと思います。失敗もきっとこれからの生活に生かしてくれると思います。実施後のまとめの集会では、「来年の修学旅行では、もっとしおりの読み込み、自分たちで考えて行動できるようにしたいです。」と抱負を語ってくれました。生徒たちにとって体験活動がどれだけ大切かをここ数年で痛感している私たちは、コロナから生徒を守りながら、できる限りの体験をさせてあげたい。制限が多いからこそ、機会を工夫して生徒たちの姿を保護者に見せてあげたいとICTを駆使してその方法を探っています。これからも工夫して生徒の様子を発信していきますので、ご期待ください。

さて、3年生の進路指導も佳境に入り、教職員をはじめ、受験生をお持ちの保護者の皆様方の心労もピークとなっていることと推察いたします。生徒たちは最後の苦難を乗り越えるべく、必死に頑張っています。もう少しの間、温かく見守ってあげてください。巣立ちの時を間近に控えた生徒たちを学校をあげて応援しています。地域・保護者の皆様も応援よろしく願いいたします。

3年生の皆さん、春はすぐそこまで来ています。自分たちで作成成功させた修学旅行を思い出してください。コロナにも負けずに頑張って学習したこの努力は、決して無駄にはなりません。焦らず、くさらず、信じた道を一步一步進んでいってください。その先に見る景色はきっと、あなたらしいものになるでしょう。

今年のコミュニティースクールの目標の通り、「挨拶」と「ボランティア」は順調によくなり、総合的な学習の時間に STEAMS 教育として取り組んでいる防災教育も地域の皆様の協力を得ながら、大きな一歩を踏み出しました。3年生に続いていよいよ1, 2年生のフィールドワークが始まります。今度は、PTA から、見守りボランティアを募っていただけることになりました。地域・保護者の方々に支えられて地域のために働く生徒が育っていきます。この素晴らしい流れを継続していきましょう。今後ともよろしく願いいたします。